

令和4年8月 1日

三田市長 森 哲男 様

三田市協働のまちづくり推進委員会
委員長 清水 陽子

三田市協働事業提案制度 公開プレゼンテーションの審査結果について（答申）

令和4年7月23日にウッディタウン市民センターで開催しました「三田市協働事業提案制度 公開プレゼンテーション」の審査結果について、下記のとおり答申します。

記

1 公開プレゼンテーションによる審査の経過について

三田市協働事業提案制度「ええやん！やってみよっ！」に申請し、一次審査を通過した10団体を対象に公開プレゼンテーションを実施し審査員7名（三田市協働のまちづくり推進委員会委員6名、市職員1名）による二次審査を行いました。

当日は、予め公表していた評価・採択基準に基づいて提案団体のプレゼンテーション、審査員からの質疑応答及び申請資料等の内容に対する採点を行い、50点満点の60%（30点）以上の評価を得た提案を採択候補とする原則の下で、当委員会として協議を行い下記の答申内容をまとめました。

2 答申本文

(1) 審査員の協議を踏まえて、委員会として下表の通り8提案を採択相当（うち1提案に付帯意見）、1提案を条件付きで採択相当、1提案を不採択相当と決しました。

| No | 提案団体名 | 点数 (50点満点)+加点 | 採否 | 備考 |
|----|----------------------|------------------|--------|-----------|
| 1 | 森を守り育む市民団体『もりんちゅうの会』 | 35.86点 | 採択 | |
| 2 | 特定非営利活動法人ミラクルウィッシュ | 45.57点 | 採択 | |
| 3 | アートシティさんだ研究会 | 35.00点+3点 | 採択 | |
| 4 | 風車の丘ノルディックウォーキングの会 | 30.01点 | 採択 | 別記 付帯意見付き |
| 5 | さんだねこCLUB | 39.57点 | 採択 | |
| 6 | 住みよいカルチャータウンをつくる会 | 34.86点 | 採択 | |
| 7 | wheelogさんだ | 43.57点 | 採択 | |
| 8 | さんだ涙活プロジェクト | 25.01点+3点 | 不採択 | 不採択理由別記 |
| 9 | 明治二年・三田百姓一揆記念碑を建てる会 | 29.71点+3点 | 条件付き採択 | 別記 条件付 |
| 10 | 株式会社オフィスK's | 36.00点 | 採択 | |

※（公表している評価・採択基準）各評価項目を合計し、30点（50点満点の60%）以上の評価を得た提案を採択候補とし、寄附による加点を加えた得点上位の提案から予算の範囲内で採択します。

(2) 別記意見等

提案4 風車の丘ノルディックウォーキングの会に対する付帯意見

提案内容に対する評価は基準に達していますが、活動の趣旨がより多くの市民に共有されるための工夫が求められると判断し以下の意見を付すこととします。

- ① 広くPRや参加募集を行うとともに、他団体と連携するなど、現在の活動メンバー以外の新規参加者を増やす取り組みを行ってください。
- ② 事業終了後の実績報告時に、各イベントの募集方法の工夫や新規参加者数を報告してください。

提案9 明治二年・三田百姓一揆記念碑を建てる会に対する採択条件

プレゼンテーションで力点をおかれた記念碑の建立そのものについては、現状では市民理解の広がりについて疑念があります。しかし提案資料にある地域の歴史を市民や次世代に伝えようとする取り組み計画には大きな期待を寄せています。

については、評価がわずかに基準を下回っていますが、委員の総意として以下の条件が満たされる条件のもとで本制度による支援が適用されることを提言します。

- ① 子どもたちなど、広く市民が歴史を知り学ぶための資料を作成し、歴史を語り継ぐ活動に補助金を充当してください。
- ② 歴史を語り継ぐ活動や草刈り等の記念碑の管理等を継続して行える体制を構築するために啓発活動に補助金を充当してください。
- ③ 事業終了後の実績報告時に、上記に関する取り組み結果について報告してください。

提案8 さんだ涙活プロジェクトに対する意見

審議の結果、委員会として以下の理由に基づき今回は不採択相当と決しました。

- ① 活動の趣旨は理解できますが、手法として選択性が強い印象を受けます。したがって活動が広く市民に受容され、財政的な支援について理解が得られるかどうかについて委員会として妥当であるとは判断できませんでした。
- ② すでに有料の事業として実績があり、かつ市内に限定されない広域的な受益者を視野に入れた活動として展開されていることから、業としての自立を目指されるべき事業でもあるとも考えます。
- ③ 今後、協働事業としてご提案いただく場合には、提案の公益的趣旨について市民の理解を深めるための手法等について工夫を加えていただくことを助言します。

3 結論

市におかれましては、上記答申を踏まえて令和4年度三田市協働事業提案制度に基づく補助対象提案を決定いただくようお願いいたします。